

多施設合同研修事業 都道府県名 ( 愛知県 )

## I. 研修の開催に関すること

1. 研修開催場所の箇所数 ( 1 )箇所
2. 研修開催場所の選定にあたって考慮したこと(開催地域や開催会場の選定にあたって考慮した事柄があれば、ご自由にご記入ください)

講義だけでなく、助産技術の演習ができるための教室があり、シミュレーターや物品が揃っていること。

3. 研修開催回数 延べ( 1 )回

## II. 研修受講者に関すること

1. 研修受講者数等(実人員)  
(開催回別に記入してください)

開催回	応募者数	受講者数
第1回	( 29 )名	( 27 )名
第2回	( )名	( )名
第3回	( )名	( )名

※ 必要な場合、行を挿入した上でご記入ください

※ 各講義・演習ごとに部分的に受講する研修形式の場合には、当該講義・演習ごとの人数を記入してください

(講義・演習ごとの記入が不可能な場合は、延数を記入願います)

2. 研修受講者の所属施設  
(実数で記入下さい)

(記載例) -----

【応募者数・参加者数】  
Aさんが、4月と10月に  
研修に参加した場合に  
「1」と計上

施設種別	応募者数	受講者数
病院	( 29 )名	( 27 )名
診療所	( )名	( )名
助産所	( )名	( )名
介護老人保健施設	( )名	( )名
指定訪問看護事業所	( )名	( )名
その他 ( )	( )名	( )名

3. 研修受講者のうち、病院の  
場合の病床規模

許可病床数	受講者数
100床未満	( 1 )
100～200未満	( 4 )
200～400未満	( 6 )
400床以上	( 16 )

4. 研修の受講資格・選考基準等(施設類型や職位等による基準を設けているか否か等についてご自由にご記入ください)

受講資格

新人助産師卒後研修が自施設で開催されない病院等(原則として200床未満)に平成23年度新卒で新規採用された助産師で5日間出席できる者

選考基準

受講資格を満たしていること。

5. 事業の周知及び公募方法(ご自由にご記入ください)

年度初めの愛知県看護研修センターのリーフレットに掲載すると共に、県内の産科を標榜している関係施設に文書で通知。同時にWebページに公開した。

### Ⅲ. 研修内容に関すること

1. 受講形式

- A 全日程を受講することを基本としたコース形式  
 B 講義毎に部分的に受講する形式

2. 研修プログラム

時期 (月)	研修テーマ	時間数	研修内容・方法
6月 1日目	母体・胎児の健康診査に必要な検査	2	講義 ・超音波胎児計測
	妊産婦の助産診断技術	3	演習 ・内診技術 ・外診技術 ・超音波胎児計測
6月 2日目	分娩時に起きやすい異常の早期発見と対応	2	講義 ・分娩監視装置の取扱いとデータの判読
	正常分娩時の助産診断・技術	3	演習 ・産婦の産む力を高める経膈分娩の介助 ・リスク管理と助産診断・技術 ・骨盤出口部拡大体位 ・分娩進行に伴う異常発生予測と予防的行動
9月 1日目	母乳育児支援に必要な助産診断・技術	2	講義 ・母乳育児支援の理論と実際
	特別な支援を必要とする場合のアセスメントとケア技術	3	演習 ・直接授乳困難、乳頭痛、帝王切開で出産した母子、双胎児、母乳不足、母乳復帰など
9月 2日目	新生児のフィジカルアセスメント	2	講義 ・出生後24時間までの新生児の診断技術
	新生児胎外適応の助産診断と促進ケア	3	演習 ・新生児の処置 ・新生児への予防薬の与薬(Vk2、点眼薬) ・出生後1ヶ月までの新生児の診断・ケア技術
9月 3日目	新生児の心肺蘇生	2	講義 ・出生直後の状態の評価 ・新生児の蘇生アルゴリズム
		3	演習 ・新生児の心肺蘇生の実際

※ 行が不足した場合、適宜追加してご記入ください

※ 時期には実施月をご記入ください。

### 3. 講師数(実人員)

看護職員： ①看護教員(講師、教授など大学の教員も含む) ( 4 )名  
②臨床現場の看護職員 看護部長、副看護部長、看護師長 ( )名  
施設の教育担当者(教育責任者等) ( )名  
専門看護師・認定看護師 ( )名  
その他 ( 4 )名

その他の職種： 職種等( 医師 ) ( 2 )名  
職種等( ) ( )名  
職種等( ) ( )名

### 4. 1回の研修にかかる日数および時間数(日数、時間数の両項目に記載願います)

(1. でBと回答した場合には、1クールの総日数・時間数を回答願います)

( 5 )日 ( 30 )時間

5. 4. の内訳 講義 ( 10 )時間 演習 ( 15 )時間  
その他 ( ) ( )時間 オリエンテーション ( 5 )時間

## IV. 事業の評価等に関すること

### 1. 事業の実施にあたって工夫した点(自由にご記入ください)

・研修の目標到達に向けて、各講師ごとに研修内容の打合せを詳細に行った。  
・演習がスムーズに進行するよう、必要物品の準備を徹底し、使用教室の位置等受講者が動きやすいよう考慮した。

## 2. 事業の効果および評価に関すること(自由にご記入ください)

### 1 日程について

講義や演習の時間についてはほぼ80%以上の受講者が「ちょうどよい」と回答したが、6月と9月で2ヶ月間が空いてしまったこともあり、「研修を連続して行ってほしい。」という意見もあった。

### 2 研修内容・方法について

講義内容について、5日間ともほぼ全員が「理解できた。」と回答している。受講者の意見には、「実践的で臨床に活かせる内容だった。」「新しく得られた知識も多かった。」など、様々な学びがあったと回答している。

研修の方法についても全員が、「適切だった。」と回答している。

また、「今後も研修の機会を増やしてほしい。」という意見や、「他病院の新人助産師と関わり、ともに頑張っていこうという意識が持てた。」などがあり、研修の目的が達成できた。研修中演習について、「もう少し時間をかけて指導を受けたい。」という意見が聞かれ、今後検討が必要である。

## V. 事業の委託に関すること

1. 事業の委託  A 委託していない  B 委託している 委託先( )